

鎌倉街道（東境・西境）編



西境 散策ルート



① 酒井神社 【さかいじんじや】

祭神は豊宇賀能売神・菅田別命。末社に山神社・萩之宮・津島社がある。酒井神社の北側を通る鎌倉街道は境川を渡って尾張国大久手（豊明市）に通じていた。言い伝えでは徳川家重臣「酒井」氏の発祥の地とされている。



酒井神社

② 永福寺 【えいふくじ】

曹洞宗の寺院。文亀2年（1502）の創建といわれる。天保年間（1831～45）に寺の東側の溝から出土した道祖神と池大雅が書いたという木額（秋葉殿）はともに市の指定文化財。



永福寺

③ 長善寺 【ちょうぜんじ】

浄土宗西山禅林寺派で東郷町にある祐福寺の末寺。永正16年（1519）に攝智立公によって開かれたという。門前西側の墓地には、慶応元年（1865）に世を傳んで入水した四人の尼僧を供養するために建てられた「入水往生供養碑」がある。



長善寺

④ 観音寺 【かんのんじ】

曹洞宗。もとは庚申堂といい、慶長年間の草創と伝わる。同じ西境にある長善寺と永福寺の隠居所であった。本尊は十一面観世音菩薩であり、秘仏である。本堂には市指定文化財の池大雅筆の「大悲閣」の木額が掲げられている。



観音寺



QRコードをお読みいただく、刈谷の地図と周辺の史跡が表示されます。

西境 にしざかい

境川の左岸は境村と呼ばれ、その西部を占めていたため「西境村」と呼ばれた。かつては西境村の北部を鎌倉街道が通っていたとされる。境川は川底に砂が堆積して天井川化し、西境村はたびたび水害に悩まされた。

東境 ひがしざかい

境川の左岸は境村と呼ばれ、その東側にあるので「東境村」と呼ばれた。台地の上に位置し、水利が乏しかったため溜め池が多く作られた。江戸時代は刈谷藩と旗本本多氏は相給村であった。

お問い合わせ

刈谷市歴史博物館

〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1
TEL:0566-63-6100 FAX:0566-63-6108
http://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/